

ニ最近ニ於ケルスベテノ、プロレタリアートノ大キナ革命的攻撃（八月一日ノ反戦カンパニーヤ、三月六日ノ失業闘争デ）ノ分析ハ次ノコトヲ全ク明瞭ニ示シタ。ソレハプロレタリアートノ無條件ニ最良ノ革命的組織形態ハ、工場ニ於ケル活動ノ場所ニヨル組織一即チ、強固ナ共產黨工場細胞ニ依存スル組織一デアルコトデアアル。又、コノ最近ニ於ケル階級闘争ノ經驗ハ官憲フアレスト共ノアロルノ追跡カラ逃レテ地下運動ニ入ルニ際シ、工場内ノ黨組織ニ頼ルコトガ最モ良イコトヲ明瞭ニ示シタ。何故ナラ、黨ノ工場組織ノ中ニオイテ容易ニ、個々ノ黨員ノ日常活動ヲ監視シ、廣汎ナル大衆ノ日常要求ヲ革命的闘争ノ更ニ高度ナ形態ノ出發點トスルタメニ、細胞組織ノ力ヲ借リテ、廣汎ナ大衆ノ、日常要求ニ基イテヨリ容易ニ大衆トノ結合ヲ發見シ、又ソノ結合ヲ固メルコトガ出來ルカラデアアル。コノ故ニ、近來企業家ガ、自己ノ工場ノ労働者ニ對シテ徹底的ニ警察的搜索ヲ行ヒ、工場デ革命的活動ヲヤツテキル懸憂ノアル勞

働者ヲ容赦ナク威首シテキルノハ、故ノナイコトデハナイ、又一方工場細胞ノ形態ヲトツタ戰國的フアレスト民兵ガ作ラレ、ソノ細胞ニ、最モ重要ナ任務トシテ、工場カラ共產主義者ヲ逼ヒ出ス仕事ガ課セラレテキルノモ決シテ偶然デハナイノダ。

カ、ル狀勢ノ下ニアツテ工場ニ於ケル共產黨ノ活動ニハ、黨ノ諸組織ノ全勢力ノ緊張ト最大ノ頑強性トガ必要デアアル。様々ナ色合ノ日和見主義者共ハ、ソナコトハ不可能ダ、トサヘ言ツテキル。日和見主義的氣分、工場細胞ヲ基礎トスル黨活動ノ改造ニ對スル日和見主義的反抗ニ對シ、最モ假借ナキ闘争ヲ展開セネバナラス。

工場細胞ノ活動ニ就テ

一九三〇年二月國際共產黨執行委員會ノ常任委員會ハ、其ノ基礎的指令トシテ各共產黨ニ對シ、煽動宣傳活動ヲ凡ユル方法デ更ニ強化スル時ニ實際ニ大衆闘争ノ所要準備ヲ行ヒツ、プロレタリアートノ大衆的進軍、ストライキ、失業運動、デモンストレーション、國